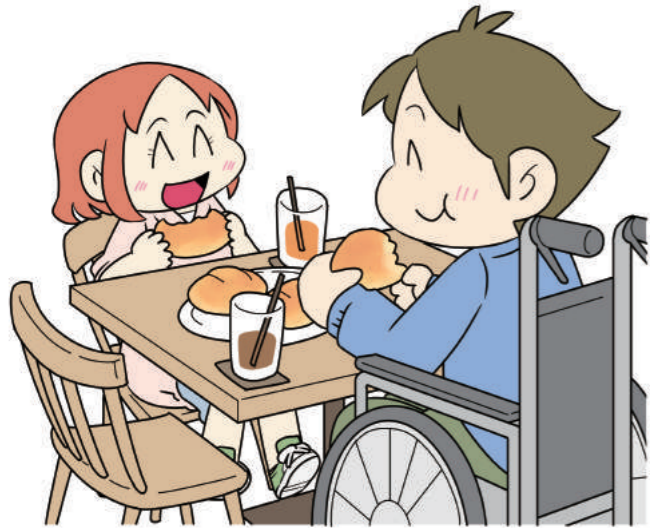


きずなループ事業に参加して下さっている障がい者施設様への訪問レポートです。今回は障がい福祉サービス事業「コパン」さんに遊びに行ってきました。(福島県会津若松市)



安心安全でおいしいもの

カナ: ヒロシ兄ちゃん、こんにちは!
ヒロシ: やあ、こんにちは。カナちゃん、今日はなんかごきげんだね。
カナ: 昨日ね、お母さんと一緒にいいところに行ってきましたよ。はい! これ、おみやげ。とてもおいしいんだよ。

ヒロシ: よ〜し、カナちゃん。どこに行ったか当ててみようか。
カナ: うん、うん。ど〜こだ?
ヒロシ: そこはね、とっても明るいお店で……、窓の外はみどりの芝生がきれいで……、おいしいパンがたくさんあるところだね。
カナ: え〜! え〜! どうしてわかったの? 【コパン】だって……? お母さんに聞いたの? も〜! お母さんったら。カナには家のことはあまりお外では言わないようになってるくせに。だから、お母さんが太ったからって、お父さんに内緒でお洋服買ったのも黙ってたのに!
ヒロシ: お母さんに聞いたんじゃないだよ。カナちゃんのおみやげのこのお菓子は【コパン】さんの人気のお菓子だから、きっとそうじゃないかと……。

カナ: かわいいお顔のお菓子、カナ大好き!
ヒロシ: これは「にこまる」って言ってね、枝元なほみさんと一緒につくったお菓子なんだ。
カナ: えだもと…なほ…み…さん?
ヒロシ: ホームレスの人たちに食事を提供したり、社会活動している人なんだよ。その方とご縁があって一緒につくったんだって。

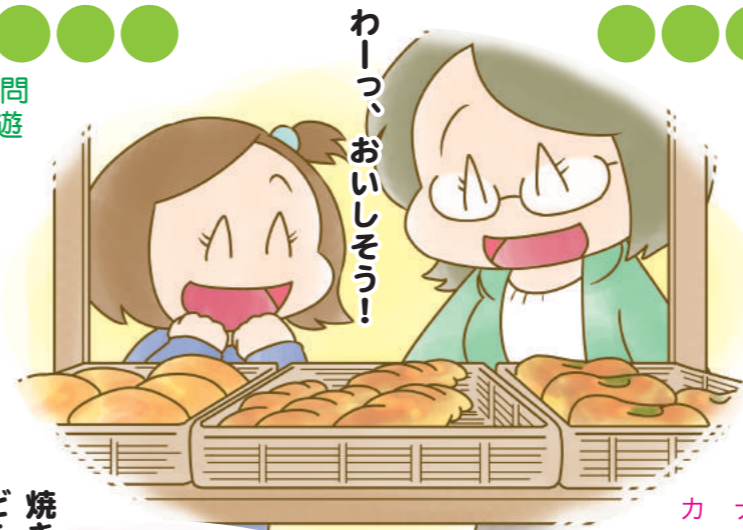
カナ: ねえ、なんでヒロシ兄ちゃんは「にこまる」のことが知ってるの?
ヒロシ: 実はね、この間【コパン】さんに行ってきましたんだ。僕が行ってる障がい者支援施設「くるりんこ」で【銅線剥離エコビジネス】の仕事してるのを知ってるよね。
カナ: うん。たくさんの会社さんから電線を送っていただいて、応援してもらってるって、ヒロシ兄ちゃんがよるこんでたよね。

ヒロシ: そうなんだ。室内で作業ができるから、季節や天気に関係なく仕事ができる【銅線剥離エコビジネス】に、多くの会社さんから廃電線を送っていただいて、障がいのある僕たちに、とてもうれしいことなんだ。

カナ: よかったね。
ヒロシ: だから廃電線を送っていただいている会社の方々に、これから【コパン】さんのおいしいクッキー詰合せを、お礼のひとつにしようとお話に行ったんだよ。

カナ: お母さんが【コパン】でも、ヒロシ兄ちゃんのように障がいのある人たちがたくさんいて、パン屋お菓子をつくってるんだって言ってたけど……

ヒロシ: そう。正しくは「障がい福祉サービス事業所・コパン」が正しいお名前前で、就労継続支援 A 型事業や就労継続支援 B 型事業、生活介護事業をお仕事にしているんだ。カナちゃんにはちょっと難しいかな。いろいろな理由があって、みんなと一緒にお仕事や生活するのが苦手な人たちが、頑



さあ、みんなで楽しもう!

張って生活できるように練習や勉強をする施設だよ。

カナ: ……………?

ヒロシ: じゃあ、カナちゃんでもわかることを教えてあげる。「コパン」って、なんのことか知ってる?

カナ: こ・ぱん……? ん〜? あっ! わかった! 小さいパンでしょう。子供のパンだから、こぱん……。

ヒロシ: なるほど、おもしろいね。でも違うんだな。「一緒にパンを食べる仲間たち」のことを、フランスの言葉で「コパン」って言うんだって。

カナ: へ〜、仲よしのお友達のことなの?

ヒロシ: そんな意味もあるかもしれないね。一緒においしいものをつくったり、食べたりすると仲よしになるもんね。

カナ: うん。お母さんなんか、そんなに怒っていても、なんか食べるとすごくニコニコになるよ。

ヒロシ: ところでカナちゃん。この間【コパン】では何を食べたの?

カナ: おいしかったよ! トマトのハンバーガー。また食べた〜!

ヒロシ: おっ、いいね。トマトバーガーだね。【コパン】さんでは、同じ敷地でお野菜もつくって、そのお野菜が一番おいしいうちに、サラダにしたりとかパンに挟んだりして出してくれるからおいしいんだよ。

カナ: お母さんがソースもおいしいおいしいって食べてた!

ヒロシ: トマトバーガーのミートソースも手づくりだからね。おいしくて当たり前だね。

カナ: もっとおいしいものを出すといいね。

ヒロシ: どんどん出るよ。だって、いつもみんなで新しい商品を考えてみたいだよ。ただ、みんながいいって言う商品でなきゃお店では売らないんだって。

カナ: じゃあ、またお母さんに連れて行ってもらおうと!

ヒロシ: そうだね。【コパン】さんにはいつもだいたい 30 種類くらいのパンと 15 種類くらいのお菓子があるんだけど、その他に季節ごとのおいしい野菜を使ったパンとか、クリスマスやハロウィンなどのイベント用の商品がお店に並ぶんだって。

カナ: わ〜! 楽しいね。それじゃあ毎日行かないと……

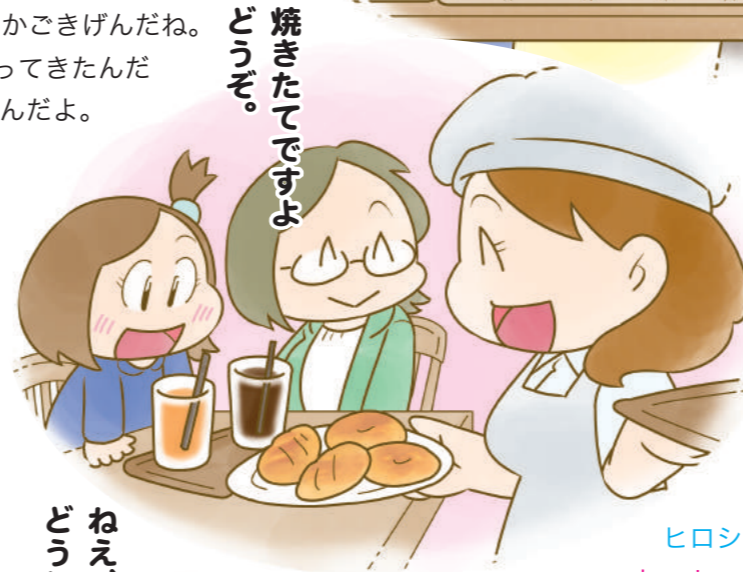
ヒロシ: う〜ん。それはお母さんが許すかどうかだね。でもいつもおいしいものが食べられるって、うれしいよね。

カナ: それじゃあ、ヒロシ兄ちゃん達がお仕事にしている【銅線剥離エコビジネス】に、使えなくなった電線を送ってくれたみんなも【コパン】のおいしいお菓子が食べられるんだね。きっとよるこぶね。

ヒロシ: そうだね。【コパン】でお仕事している障がいのある人たちも、みんなうれしいね。

カナ: やったー! みんな「にこまる」見たいな顔になるんだ。ニコニコでまんまるの顔だから、お母さんの顔とそっくりになるんだ。

ヒロシ: ……………。



焼きたてですよ。どうぞ。

ねえ、コパンのパンってどうしてこんなにおいしいの?



新鮮で安心な材料とお客様の笑顔がおいしさのハーモニーになります。

